主催：日本18世紀学会
共催：関西学院大学美学芸術学研究室 (関西学院張記念館レクチャーコンサート実行委員会)

18世紀の舞踏譜にみる空間と身体

——バロックダンスで聴く、宮廷の舞曲——

2026
June
27

関西学院会館　風の間

開場 17：30　**開演** 17：45

料金 無料（一般先着30名・要事前予約）

お問い合わせ

MAIL kg.lectureconcert@gmail.com　TEL 0798-54-6212

お申込

右記QRコードから
お申込ください

※お申込後３日以内に
確認メールをお送りいたします
※定員に到達次第、受付を終了いたします

日本18世紀学会とは

日本18世紀学会は、18世紀という時代を対象に、洋の東西を問わず、文学・芸術・思想・歴史・政治・経済・科学など多様な切り口から研究する領域横断的な学術団体です。年に一度の全国大会（研究発表会）では、研究者によるレクチャーコンサートを開催してきました。関西学院大学で開催される今回は、学会員に加えて近隣の皆さま先着30名をご招待し、解説と実演を通して18世紀ヨーロッパの音楽と舞踊をご紹介します。

企画趣旨

舞踏譜は、舞踊における身体動作を記録・伝達する手段であると同時に、動作を空間のなかに位置づけるための体系として発展してきました。なかでも舞踏教師フイエ R. A. Feuillet (1660年頃–1710年) が著した『コレグラフィー』(1700年頃) は、1706年の英訳の出版を契機にヨーロッパ全土へ広く流布し、18世紀の舞踊実践に大きな影響を与えたことで知られています。

本来、舞踊と舞曲は不可分であり、身体動作と音楽は相互に密接な関係にあります。しかし、舞曲が舞踊の実践から切り離され、独立した音楽作品として作曲・演奏されるようになると、それまで自明とされていた身体動作と音楽の連関は見えにくくなってしまいます。舞曲を音楽作品として扱う視点の普及は、当初その前提にあった身体性の看過を招いているといえるかもしれません。

本企画では、バロック・ダンスに樋口裕子氏ならびに有門奈緒子氏、バロック・ヴァイオリンに大内山薫氏をお招きして、舞踏譜が記録する「空間に位置づけられた身体」を実演によって可視化し、舞踊と音楽の関係についてあらためて検討します。

出演

バロック・ダンス

Yuko Higuchi　樋口裕子

同志社女子大学音楽学科声楽専攻卒業。在学中にバロック舞曲のリズムに興味を持ち、欧州の古典舞踏の研究を始める。墺・英・仏・波、他で著名な古典舞踏家から指導を受ける。ラ・フォル・ジュルネ、丹波の森国際音楽祭、NHK=BS 番組「クラシック倶楽部」等、多数出演。現在、 NHK 文化センター梅田・京都教室、 朝日カルチャー川西教室、 同志社女子大学、 関西学院大学、 大阪音楽大学、 および付属音楽院非常勤講師。 コートダンス・アンサンブル代表。

バロック・ダンス

Naoko Arikado　有門奈緒子

幼少よりクラシックバレエをうえのみさお氏に師事し、多数の舞台、コンクールを経験。スペイン留学中に現地のフラメンコ、バレエを学ぶ。現在はバレエストレッチを指導しながらバロックダンスを学び、樋口裕子氏に師事。「コメディ・バレへの憧れII～フランス宮廷バレエと音楽～」「コメディ・バレへの憧れIII ～町人貴族～」「コメディ・バレへの憧れV ～町人貴族～」、「音楽への道 CEM主催～キジュコン＃3～」などに出演。

バロック・
ヴァイオリン

Kaoru Ouchiyama　大内山薫

西宮市出身。幼少よりヴァイオリンを長谷川孝一、石川誠子、久合田緑に師事。京都市立芸術大学を経て同大学院を首席修了。大学院賞受賞。博士課程にて学ぶ。在学中から京都フィルハーモニー室内合奏団などで活躍し、その後古楽の研鑽を深めるために渡欧。デンハーグ王立音楽院古楽科にてバロックヴァイオリンを寺神戸亮氏に師事しディプロマを取得し卒業。仏シャンゼリゼ管弦楽団より 2 年連続で全額スカラシップを受け古楽音楽祭 Festival de Saintes に参加。国内外の古楽音楽祭、コンサート、録音、オペラに多数出演するほか、近年は様々な古楽団体のコンサートマスターやアンサンブルリーダーとしても活躍している。

講師

Haruka Kimura　木村遥

博士(芸術学)。日本学術振興会特別研究員PD (成城大学)、関西学院大学、立命館大学ほか非常勤講師。専門は17世紀から18世紀にかけてのフランスにおける楽器演奏文化。

講師

Kanae Kaida　貝田かなえ

関西学院大学大学院 文学研究科 博士課程後期課程在籍。音楽学専攻。雑誌・文学資料や図像資料を用いて、近代日本におけるマンドリン受容を研究し、国内外の学会にて発表を行っている。

プログラム*

* 当日変更の可能性あり

1．講演

（講師：木村遥、貝田かなえ）

2．演奏とダンス

（バロック・ダンス：樋口裕子、有門奈緒子／バロック・ヴァイオリン：大内山薫）

Menuet メヌエット
- P. Rameau. 1725. “Le Maître à dancer.” / J. B. Lully. 1670. “Le Bourgeois Gentilhomme.”
- R. A. Feuillet. 1709. “VIIe Recueil de dances pour l’ année 1709.” / M. Marais et Louis Lully. 1693. “Alcide.”

Musette ミュゼット
- M. Gaudrau. 1713. “Nouveau Recueil de dance de bal et celle de ballet.” / A. Destouches. 1712. “Callirhoé.”

Sarabande サラバンド
- R. A. Feuillet. 1700. “Recueil de dances, composées par M. Feuillet.” / J. B. Lully. 1670. “Le Bourgeois Gentilhomme.” ほか

3．対談

（お話：樋口裕子、有門奈緒子、大内山薫／聞き手：木村遥、貝田かなえ）

アクセス

関西学院会館 風の間
(西宮市上ケ原一番町1-155)

阪急「甲東園」駅より
徒歩20分

阪急「仁川」駅より
徒歩15分

関西学院大学
「正門」より
北へ徒歩1分